

## 経営学部助成金レポート

私は、このたび龍谷大学経営学部同窓会から経営学部助成金を10万円いただきました。

この支援金を日商簿記1級の専門学校の授業料とTOEICの教材に使わせていただきました。日商簿記1級は、昨年6月に始めて受験しましたが、2、3級とは比べものにならないほど、難易度が高く、僅か20点と悲惨な結果に終わってしまいました。この失敗を繰り返さないようにも試験が終わって1か月は、試験問題の見直しを徹底的に行い、

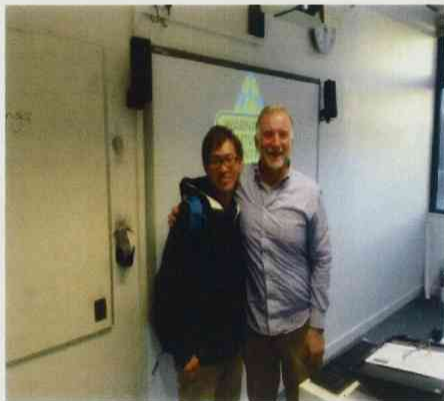
7月から再度、11月の試験準備の為、専門学校(TAC)に半年コースで通い始めました。一度学習している範囲なのでよい復習になり、前回理解できなかった範囲は二度目なので理解ができるようになり、順調に毎日の勉強を行うことができ、11月の受験を迎えました。同時受験した2級は92点で合格できました。自信がありましたからなんなく解くことができましたが、ケアレスミスで満点にならなかったのが残念です。肝心の1級は、残念ながら60点であと10点足りず不合格になりました。1級は、原価計算の範囲ではほぼ満点を取ることができた反面、得意の商業簿記で、ミスが多く、足を引っ張り、不合格という結果になってしまいました。前回に比べて40点近くアップしましたが、振り返るとケアレスミスさえなければ合格という文字が見えていただけに残念です。次の試験は、6月です。しっかり準備して高得点で合格を掴みたいと思います。簿記検定を勉強したおかげで大学の会計の授業の理解が容易く、成績もほとんど90点を越えました。加えて、今所属している会計ゼミでも簿記検定受験で培った知識をうまく活用できたことなど多くの利点がありました。今後は、日商簿記検定に続いてより専門性の高い公認会計士や税理士の勉強をしていきたいと思っています。



もう一つは、TOEICの勉強です。昨年の春休みにBIEプログラムでアメリカに留学して以降、英語の重要性とともに興味が高まり、英語を継続学習するため、TOEICの受験を始めました。簿記とゼミが忙しかったので、合間合間の時間を使って、勉強する形になりましたが、毎日コツコツやることで無駄なミスが減り、420点だった点数を535点にのせることができました。加えて、学校の留学生と交流するイベントなどには積極的に参加して英語を話すということを意識しました。今回の春休みにも、



単独で3週間英国の語学学校含む海外旅行にチャレンジしました。昨年のBIEでは、授業以外のところでは、留学生同士の会話がほとんど日本語になってしまい、自分がどれだけの英語力があるかわからなかったです。自分ひとりでどれだけ通用するのかを知りたかったです。私は、英国のブライトンというところのEmbassyブライトン校にホームステイして3週間通いました。この語学学校には、ブラジル、ロシア、中国など世界各地から多



くの人達が来ていて、年齢も15歳から50歳くらいの幅広い年代層が来ていました。初日にクラス分けのテストと施設の案内をして、次の日から正式に授業が始まりました。クラスは、10人前後の少人数制で、1日90分の授業が3コマずつありました。私のクラスは、ブラジル人とアラビア人が多く、他に中国人や韓国人やドイツ人が1人ずついて、日本人は私1人だけでした。学校の中にもほとんど日本人はいなく、毎日英語漬けで、日本語を話す機会はありませんでした。

クラスのレベルは、真ん中くらいのクラスに入ったため勉強する内容は結構簡単なほうでしたが、授業は、スピーキングがメインだった為、スピーキングが苦手な私にはちょうどよいクラスでした。一番苦労したのはやはり発音です。発音一つでまったく伝わらず、国が違うので母国語と混ざっているのもあり聞くのも大変でした。また、初めのほうは、言葉に詰まることがほとんどで会話にならず、話がかみ合わないことばかりでしたが、1週間、2週間と日が経つにつれて自然に言葉がでるようになっていき相手が何を話そうとしているかもわかってきました。また、いろんな国の人達と友達になり、その国の教育や仕事や娯楽など興味深いテーマについて語り合えました。私は、自国について知っているつもりでいましたが、知らないことが多くあることを発見し、もっと自国に対して興味を持っていかないといけないと感じました。ホストファミリーも気さくに話しかけてくれて、料理もおいしく、ルームメイトもとても優しく、バスのチケット買い方などいろいろ教え

てくれて快適な生活を過ごすことができました。週末には、イギリスに住んでいるいとこや友達とロンドンやブライトンの観光地に行くなどとても充実した3週間でした。しかし、3週間はあっという間のものでやっと慣れてきたところで終わりになりもっといたいという気持ちがとても強く生まれました。この経験は、本当に一生ものの経験になりました。帰国してTOEICなどを早目に受験しどれだけ実力が上がっているか確認



し、早い段階で当面の目標である700点に到達できるように、勉強を続けていきます。次にもし機会があれば、交換留学などの長期留学にチャレンジしたいと思います。日本に帰国して、今年の4月からりゅうこく国際ハウスに住み始めました。英語は使わないとすぐに落ちてしまうので、日常から積極的に使い留学生との信頼関係をつくっていき、更に、出来れば日本人の学生と留学生を結びつける仲介役になりたいと思います。なぜなら、多くの日本人の学生は、外国人に興味がありますが英語が出来ないというだけで、かかわるのを避けている人を多いからです。また、留学生も多くは日本人と話したり、交流する機会がほしいと思います。どちらにも確実にいい刺激になると思います。今後も会計の勉強と両立して英語も勉強していきますが、ただ勉強するだけでなく、積極的に使っていきます。

経営学部助成金をいただいたおかげで、これらの多くの経験や勉強ができました。本当にありがとうございました。